

商業科（電子商取引）学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 履修単位数 4単位
- 2 実施日時 令和3年○月○日（○） 第○時限
- 3 学 級 ○○HR（○○名）
- 4 使用教科書 電子商取引（東京法令出版）
- 5 単 元 名 第2章コンテンツの制作 第2節コンテンツの準備
- 6 単元設定の理由
 - (1) 生徒観 与えられた課題に対して、真面目に向き合うことができるクラスである。また、活動的で元気が良く、チームワークを高めることもできる。
 - (2) 教材観 電子商取引における課題や法規則について、具体事例や図解が多く解説され、道徳観や倫理観について、意識的に学習ができるようになっている。ストーリー性のあるリアリティな内容で構成され、操作手順も詳しく説明されており、生徒が興味を持てるものとなっている。
 - (3) 指導観 スマートフォンの普及により、生徒にとってカメラで撮影することは大変身近であるが、見る人の立場に立ち、何を伝えたいのか、どうすれば伝わるのかを視聴者の立場に立って考える力を身に付けさせるとともに、作品を完成させることの達成感を体験させ、意欲的に学習に取り組む態度を育成する。
- 7 単元の目標
 - (1) 動画素材の作成とその取り込み方法の技術を身に付ける。
 - (2) 動画のトリミングやテロップの追加などの編集技術を身に付ける。

8 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
静止画、動画、音声などによる情報の表現に関心を持ち、その特徴や表現方法を積極的に学ぼうとしている。	静止画、動画、音声などのファイル形式の違いにより、目的に応じた適切な方法を考え、表現することができる。	動画全体の流れを絵コンテに書き起こし、共通理解を図りながら1つの作品を完成させ、書き出しができる。	動画作成全体の流れや手順について知識を身につけている。また、それぞれのファイル形式や特徴、その役割について説明することができる。

9 指導と評価の計画

- | | | | |
|-----|-------------------------|-----|---------|
| 第1次 | 撮影機器・動画の撮影 | ・・・ | 2時間 |
| 第2次 | 動画の取り込み・動画の加工（編集） | ・・・ | 4時間 |
| 第3次 | その他の動画作成・音声の準備 | ・・・ | 1時間 |
| 第4次 | 品評会 | | |
| 第1時 | 四国映像フェスタ2021のサイトの確認と評価① | ・・・ | 1時間（本時） |
| 第2時 | 四国映像フェスタ2021のサイトの確認と評価② | ・・・ | 1時間 |

	【ねらい】・◆学習活動	評価の観点				評価規準・評価方法
		関	思	技	知	
第1次	ビデオカメラの仕組みや撮影方法について理解し、完成作品を見据えて撮影をすることができる。	◎		◎		作品の流れを明確にし、撮影することができる。動画作成の流れを理解している。
第2次	動画の補正処理の方法を理解し、説明することができる。また、撮影した動画を取り込んで構成をつくり、テロップなどの追加ができる。		◎	◎		動画の補正処理を理解し、撮影した動画を取り込み、テロップなどのキャプションの追加ができる。

第3次	ボイスレコーダーなどを利用して音声を記録し、音声データを記録し、動画編集ソフトを利用して編集できる。		◎	◎	音声などを動画編集ソフトを利用して、フェードアウトやフェードインを活用し、見る人の気持ちになって心地よく視聴できる作品を制作する。
第4次	完成した作品が、絵コンテに沿って作成できているか、客観的に視聴し、評価する。		◎		作品の意義を理解し、他者の作品を適切な視点で観察し評価するとともに、自己評価ができる。

- 10 本時の指導目標
- (1) 他の班が作成した動画が絵コンテに沿って作成できているかなどを確認することができる。
- (2) 相互評価と自己評価を行い、次回の作品に向けての目標を持つ。

11 本時の展開

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的 評価規準	評価方法
導入 (5分)	・本時の流れと目標を確認する。	・本時の流れと目標を説明する。		
展開 (40分)	・四国コンテンツ映像フェスタ2021のサイトを検索し、ノミネート状況を知る。	・ノミネート状況を説明する。		
	・ノミネート作品の中からプロの作品を視聴する。	・プロの作品を確認しながら起承転結で作られていることやインパクトの強さについて発見させる。		
	・自分たちの作品を視聴し、相互評価表に記入する。	・自分たちの作品を視聴し、評価することでPDCAサイクルにつながることを理解させる。	・作成した作品を視聴し、絵コンテに沿って作成できているかなどを確認するとともに、相互評価と自己評価を行い、次回の作品に向けての目標を持つ。 【思考・判断・表現】	・観察 ・相互評価表
まとめ (5分)	・本時の内容を振り返る。	・本時に学習した内容をもう一度説明し、確認させる。		